

2020年10月15日
2020年通常枠・内定団体向け説明会資料

広報関連の留意事項

I. 休眠預金活用に関する情報公開の考え方

II. 資金分配団体決定に関する情報発信について

III. 申請時資料の公開について

IV. 実行団体の公募に関する情報発信について

V. シンボルマークについて

VI. 積極的な情報発信のお願い

最後に

I.休眠預金活用に関する情報公開の考え方

情報公開でわからな
いことはお問い合わせ下さい！



休眠預金等の活用に携わる団体に求められる情報公開 (「休眠預金等交付金に係る資金の活用に関する基本方針」から一部抜粋)

第2_1_(1)	指定活用団体 資金分配団体 実行団体	(1)国民への還元 (前略) その成果について <u>積極的に情報発信することで、国民の幅広い理解を得ていく必要がある。</u>
第2_1_(4)	指定活用団体 資金分配団体 実行団体	(4) 透明性・説明責任 <u>成果を含めたあらゆる情報を 국민に分かりやすい形で公表し、説明責任を果たす。</u>
第2_1_(4)	指定活用団体 資金分配団体 実行団体	休眠預金等に係る資金の活用に当たっては、指定活用団体、資金分配団体及び民間公益活動を行う団体の各主体は、事後の報告書の公表にとどまらず、事業の進捗状況や成果の可視化等を通じ、 <u>可能な限りあらゆる情報を国民に分かりやすい形で公表すること等、情報開示を徹底し、本制度全体の透明性の確保に努めるとともに、関係者との対話等様々な機会を捉えて広く意見を聞くよう努める。</u>
第3_1_(1) ⑥_b)	指定活用団体	休眠預金等に係る資金の活用状況を可視化し透明性を確保するとともに、その実績を国民一般に周知するため、指定活用団体においてシンボルマーク（休眠預金等に係る資金を活用して実施する事業であることを示す標識）を策定しなければならない。 また、資金分配団体や民間公益活動を行う団体が休眠預金等に係る資金を活用して実施する事業においてシンボルマークを表示することとし、そのために必要な事項を資金分配団体との資金提供契約に定めなければならない。
第6_1_(2)	指定活用団体 資金分配団体 実行団体	(2) 評価の目的 民間公益活動の成果に関し、社会的インパクト評価を行う目的は、以下のとおりである。 ・休眠預金等に係る資金の活用の成果を積極的に情報発信することで、広く国民の理解を得ること
第6_2_(5)	資金分配団体 実行団体	(5) 評価結果等の活用 民間公益活動に休眠預金等に係る資金を活用していることについて国民に対し説明責任を果たすとともに、民間公益活動の成果に係る評価の公正性と透明性を確保し、民間公益活動の成果や評価結果が社会において広く活用されるように、 <u>民間公益活動を行う団体は、評価結果を国民に分かりやすい形で積極的に公表しなければならない。</u> <u>資金分配団体は、民間公益活動を行う団体の評価結果の点検・検証を行った場合には、点検・検証結果を国民に分かりやすい形で積極的に公表するほか、当事者からの求めに応じて点検・検証結果を開示することが望ましい。</u>
第7_1.	指定活用団体 資金分配団体 実行団体	。・・・その際、特に助成、貸付け又は出資の対象とする <u>人件費の水準については、国民・住民の理解が得られるよう情報公開を徹底しなければならない。</u>

I. 休眠預金活用に関する情報公開の考え方

II. 資金分配団体決定に関する情報発信について

III. 申請時資料の公開について

IV. 実行団体の公募に関する情報発信について

V. シンボルマークについて

VI. 積極的な情報発信のお願い

最後に

II.資金分配団体決定に関する情報発信について



★内定団体・不採択団体の公表は、10月7日（水）に行いました。

- ・JANPIAウェブサイト・Facebookへの掲載
- ・プレスリリース発信（PR TIMESの活用）
- ・内閣府との連携
- ・既知のメディア、マーリングリストへの掲載依頼 等を行っています。

★その他、公開すべき情報は、 準備が整ったものから段階的にJANPIAウェブサイトで掲載予定

〈公開内容〉

- 助成額
- 助成額算定根拠（契約時の事業計画・資金計画〈前半〉の公開）
- 審査会議事録 等

※公開前の情報確認へのご協力をよろしくお願いします。

- I. 休眠預金活用に関する情報公開の考え方
- II. 資金分配団体決定に関する情報発信について
- III. 申請時資料の公開について**
- IV. 実行団体の公募に関する情報発信について
- V. シンボルマークについて
- VI. 積極的な情報発信のお願い

最後に

III.申請時資料の公開について



★「情報公開同意書」の通り、申請時資料の公開を行う予定です。

※昨年度の例

申請時資料の公開

草の根活動支援事業 全国プロック 採択事業

このページの情報は申請時（2019年7月末時点）の情報です。採択事業の詳細については、公募結果の情報をご覧ください。

申請事業名	マッチング寄付プログラム
団体名	公益財団法人 お金をまわそう基金
申請事業関連情報	
様式2 事業計画 PDF形式 (939KB)	PDF形式 (939KB)
様式3 資金計画 PDF形式 (642KB)	PDF形式 (642KB)
様式 その他 PDF形式 (4.3MB)	PDF形式 (4.3MB)
団体関連情報	
定款・規程等 PDF形式 (5.6MB)	PDF形式 (5.6MB)
決算・事業報告関連 PDF形式 (5.5MB)	PDF形式 (5.5MB)
公募システム入力情報 PDF形式 (350KB)	PDF形式 (350KB)

※昨年度の例

様式1

助成申請書

2019年7月31日

一般財団法人日本民間公益活動連携機構 殿

申請団体の住所 東京都千代田区一番町2番地2
申請団体の名前 公益財団法人 お金をまわそう基金
代表者の氏名 代表理事 澤上 向萬
法人番号 8011305002177

★正当な権利・利益を損なうような情報は墨消し対応します。

資金提供契約締結の作業がひと段落したころ、団体ご担当者に公開予定の書類を、
申請時にご登録いただいたメール宛に送信いたします。内容のご確認をお願いいたします。

I. 休眠預金活用に関する情報公開の考え方

II. 資金分配団体決定に関する情報発信について

III. 申請時資料の公開について

IV. 実行団体の公募に関する情報発信について

V. シンボルマークについて

VI. 積極的な情報発信のお願い

最後に

IV. 実行団体の公募に関する情報発信について



JANPIAでは

★実行団体の公募について、
JANPIAに特設ページを作成します。

- ・ JANPIA特設ページ、Facebookでの掲載
- ・ 地方自治体等、助成情報ページへの掲載依頼
- ・ メディアへの掲載依頼

※スムーズな公開（リンク）のために、
実行団体の公募を始める際には、情報の連携をお願いいたします。

資金分配団体においては

★資金分配団体においては、
「公募に関する情報の公開（公募要領等）」の他、
申請を締め切った時の「申請団体の情報（団体名、所在地、事業名、事業概要）」
審査後の「採択（内定）団体の情報（事業名、概要、選定過程、選定理由、助成額と算定根拠）」
を公開することとしています。

※公開方法でお困りになつたら、お問い合わせ下さい。

※20年度緊急支援枠の例

The screenshot shows the JANPIA website's 'Coronavirus Response Emergency Support Frame' section for 2020. It includes a search bar for 'Social Issues' and 'Target Areas'. Below are two examples of grant application forms:

- Kodomo no Mori Fund**: A grant application for 'Childcare and Education Support Project'.
- Japan New Type Coronavirus Response Emergency Support Commission**: A grant application for 'Coronavirus Response Emergency Support Project'.

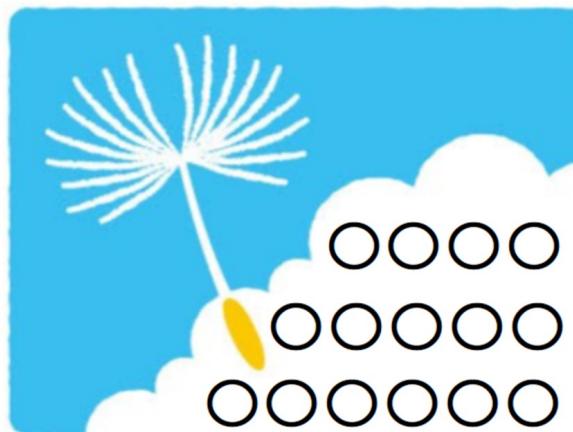
- I. 休眠預金活用に関する情報公開の考え方
- II. 資金分配団体決定に関する情報発信について
- III. 申請時資料の公開について
- IV. 実行団体の公募に関する情報発信について
- V. シンボルマークについて**
- VI. 積極的な情報発信のお願い

最後に

V.シンボルマークについて



シンボルマークについて、9月に標語の公募を行い、132名、315件のご応募をいただきました。現在審査を行っています。



休眠預金を活用した事業です

<デザインの解説>

タンポポの綿毛は広く様々な場所に飛んでいき、いったん着地するとその場所にしっかりと根を張り花を咲かせ、容易には枯れることのないたくましさと持続性を兼ね備えたイメージがあり、このタンポポの持続性が本事業のシンボルにふさわしいものと考えられます。綿毛のモチーフは、優しさと生命力の象徴であり、社会的価値の拡大と深化を促進させるという意味を持ちます。写実的な色使いが明るく希望に満ちた印象を与えています。

V.シンボルマークについて



標語選定後、皆さんにこのシンボルマークをお使いいただけるよう、
以下を準備する予定です。

- ・シンボルマークデザインの手引き
- ・シンボルマークのデータ
- ・シンボルマークを印刷したシール（サイズをいくつか準備予定）

<想定しているシンボルマークの利用>

- ◆ 休眠預金活用に係るウェブサイトへの掲出
- ◆ 助成事業に関連する制作物への掲示
- ◆ 購入物品等への掲示（シールの利用）
- ◆ 事業実施場面での使用（看板、のぼり、ビブス、腕章等） 等

なお、シンボルマーク決定前にサイト等を立ち上げる際には
「休眠預金を活用した民間公益活動(2020年度)」など、文言での表示をお願いします。

- I. 休眠預金活用に関する情報公開の考え方
- II. 資金分配団体決定に関する情報発信について
- III. 申請時資料の公開について
- IV. 実行団体の公募に関する情報発信について
- V. シンボルマークについて
- VI. 積極的な情報発信のお願い**

最後に



VI. 積極的な情報発信のお願い

休眠預金等に係る活動は、財源が国民の資産であることから、その進捗や成果に高い関心がもたれており、資金分配団体においても積極的な情報発信をよろしくお願いします。

JANPIAでも、情報発信について可能な限りサポートさせていただければと考えています。

以下のような場合、連携をお願いします！

- ・ プレスリリースやそれに準じる公式な発表を行う場合
- ・ イベントを開催する場合
- ・ 制作物（パンフレット・ちらし・ウェブサイト）を作る場合 等



VI. 積極的な情報発信のお願い SNS

- ・ ブログやSNSについては、「休眠預金助成システム>団体情報」に、そのURLをご登録ください。
- ・ 記事には、ハッシュタグ「# 休眠預金, # 資金分配団体」を。実行団体の活動では「# 休眠預金, # 実行団体」を含めるようにしてください。





【資金分配団体に直接取材の申し込みがあった場合】

- ・団体ごとにご対応をお願いいたします。
- ・もし、取材でお困りのことがあれば、ご連絡ください。

【JANPIAに個別事業に係る取材の申し込みがあった場合】

- ・JANPIAにてその事業を実施している資金分配団体にメディアをおつなぎいたします。案件により、進め方を相談させていただきますのでよろしくお願いいたします。

メディアに掲載された場合、放送がある場合など、ぜひ連携してください。
掲載された情報について、JANPIAでもご紹介していきたいと考えています。

企業連携の促進

自治体等セミナーへの講師派遣



2020年9月30日 石川県の「NPO助成金説明会」の様子（オンライン）

最後に

団体専用ページの「情報広場」の運用



・・資金分配団体専用ページ・・

2019年度 資金分配団体 向け >

2020年度 緊急支援助成 資金分配団体 向け >

2020年度 通常枠 資金分配団体 向け >



The screenshot shows a list of news items on the 'Information Bulletin' page:

- 2020.10.09 19年度団体向け：お知らせ New
- 2019年度資金分配団体とJANPIAとの対話について
- 2020.10.09 お知らせ New
- 企業連携：経団連「社会貢献活動に関するアンケート調査結果」のご案内
- 2020.10.06 お知らせ
- すべての資金分配団体向けに「情報広場」の公開を開始

【その他】

活動している皆さまの姿や取り組みのストーリーを紹介していくべく、準備をしています。ご期待ください！

JANPIA 企画広報部への連絡方法



休眠預金助成システム

Chatterで「@JANPIA広報」をメンション

メール

info@janpia.or.jp

電話

03-5511-2026 (企画広報部 直通)

